

2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [浦河町立荻伏小学校] 担当教諭名 [満田 浩美] (6年 11名)

交流相手国 [インド]

海外学校名 [Delhi Public School Bangalore South] 担当教諭名 [Syeda Noor Asma / 上林 亜有実(JICA)]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	お互いを知り、理解し合おう	10
	図画工作	希望、未来、夢を大きな絵に表わそう	5

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	希望、未来、夢
絵に込めたメッセージ	将来の夢や希望について考えたり、自分がどういう大人になっているかなどを想像したりして描いた。自国、相手国や世界中の国々が、これからも平和で明るい未来であることを願う気持ち。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・へき地の狭い地域に住む子供たちが、スカイプを通じて、遠い国の相手ともコミュニケーションが持てることが分かり、大変有意義だった。 ・インド、インドの学校がどのような様子なのか、実際に交流できて驚きとともに大変新鮮であった。 ・自分たちの将来について、真剣に考える良い機会になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語での交流が中心であったが、自分の伝えたいことを翻訳する作業が大変であった。 ・絵の構想等を日本の学校の考えを中心に決めてしまったように思う。もう少し情報交換が必要であった。 ・スカイプの音声聞き取れないことが多かった。

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
<ul style="list-style-type: none"> ・出来上がった壁画をそれまでの交流の様子を伝える掲示物とともに掲示した。 ・参観日の授業参観で、交流の様子を保護者に参観してもらった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の学年の児童が興味を持って掲示物を見ていた。インドの学校について質問してくる児童もいた。 ・保護者から、6年児童の交流の様子が、とても自然で温かいものであるとの感想をいただいた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	9月	・お互いの自己紹介を英語で行う。 日本語やヒンディー語の紹介。 (スカイプ①)	・自己紹介の練習を何回もして、とても意欲的だった。 ・初めての交流で少し緊張感があった。	総合2
情報収集	9月 10月	・学校の様子、地域の様子を知らせる。(スカイプ②) ・インドの学校の紹介。(スカイプ③)	・学校や地域の特徴的な様子、学校の行事について写真を使って、英語で一生涯説明でき、満足していた。 ・インドの様子に大変興味を持っていた。	総合4
テーマ検討	11月	・壁画のテーマや構想について考える。	・自分たちの将来や世界の平和について、真剣に考えることができた。	図工2
制作	11月	・日本の文化、遊び、クラスではやっていることなどを伝える。 (スカイプ④) ・壁画の作成	・けん玉、コマ、縄とび、習字、百人一首などを楽しく伝える姿が見られた。 ・壁画作成にクラス全員が意欲的に取り組んでいた。	総合2 図工3
鑑賞	12月	・完成した絵を相手国に見せ、自分の将来の夢などについて発表する。 (スカイプ⑤)	・将来の夢などを英語で発表できた。 最後の交流は、とても親しみを持って交流でき、終わるのが寂しそうだった。	総合2

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入(A:特に重視した B:重視した C:あまり重視しなかった)

「成果」先生の手応え(5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	B	3	自分たちの身近な文化・様子について取り上げたため、改めて新しいことを調べるなどの学習はしなかった。
異文化の理解	A	4	相手国の言語、食文化、学校の様子などへの興味・関心を普段の生活の中でも表していた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	3	自分の伝えたい事や表現したいことを、英語の文章だけでなく、いろいろな表現方法を使ってあらわすことが難しかった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	A	3	インターネットでの情報が中心となってしまう、活動が広がらなかった。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	4	交流が進むにつれて、学級内はもちろん、相手国の子供たちとも良い人間関係を築くことができた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	クラス全員で壁画の構想を考え、役割を分担して楽しく、意欲を持って作業することができた。
学習を追究する意欲	B	4	相手国や子供たちに興味を持ち、スカイプでの交流が徐々に楽しい活動になっていった。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	B	4	壁画制作に興味を持ち、意欲を持って工夫することができた。みんなで作業に集中することができた。
作品を鑑賞する力	B	3	相手国の描いた壁画に大変共感することができたが、色々な行事の関係で、時間をかけて鑑賞することができなかった。